

## (8) 『巣鴨未来草子』: 未来風景工房

### 序 縁起

白山通り（放射9号線）の拡幅工事による空間の改変を好機と捉え、現在の巣鴨の良さを引き継ぎ、それを将来に向けてさらに深め、育むために、空間構造を検証し、新しいまちの姿を提案します。

巣鴨のまちには未来を紡ぐ二本の縦糸と、親しみと安らぎを織り成す横糸が感じられます。

縦糸というのは人やものを運ぶ道、すなわち巣鴨地蔵通りと拡幅整備される白山通り（放射9号線）の場所を捉えています。

横糸というのは人と人との交流、すなわち地元の方々、主に商売をされている方と訪れる方との人情味溢れる交流白山通りから導かれる人との新たな交流の情景を捉えています。縦糸がしっかりしていないとまちの姿が曖昧となり、横糸がしっかりしていないと巣鴨らしさ、人の温かさを感じることができません。ともに強さとしなやかさを保つことで、未来に向けた新しい巣鴨の物語が見い出され、語り継がれてゆくこととなります。

新たな空間像を考えてゆくうえで大切にしたい事柄が二つあります。

ひとつは“巡る”ということです。白山通り（放射9号線）をまちの雰囲気伝える顔として整備することにより、これまでのJR巣鴨駅と都電荒川線庚申塚駅の間を行き来する「往還」に加えて、二つの通りを「循環」する新たな人の流れを誘導します。後述描写される主な場所は、その起点として重要な位置にあります。

もうひとつは“交わる”ということです。「循環」の起点は、同時に濃密な交流を育む場所ともなり、記憶にとどめられる印象的な景を創ります。また、高岩寺周辺に集中する人の流れを地蔵通り全体に行き渡らせる工夫も必要です。高齢者のみならず若い世代、言い換えれば次の高齢者世代が魅力を感じるまちへと多様性を図ることも大切です。幅広い世代が足を運び、様々なきっかけを見つけて交流を深ることが巣鴨の魅力をもっと味わい深いものに高めてゆくことに繋がります。

提案の内容は基本的な考え方を整理したうえで、五つ景をイメージしてまとめています。

はじめに 風景を考える道筋

壺の巻 「辻の景」 巣鴨地蔵通り入口広場および真性寺参道

式の巻 「道の景」 白山通り沿道空間

参の巻 「境の景」 高岩寺北側参道

肆の巻 「園の景」 豊島区衛生部分庁舎及び巣鴨四丁目児童遊園周辺

伍の巻 「集の景」 商業形態に対する提案ほか

## はじめに 風景を考える道筋

### 「道」の記憶

地蔵通りにはどこか懐かしい、親しみの持てる風景が見られます。そこを行き交う人々の喧噪、店先の話し声、笑い声が訪れる人に安らぎを与え、自然と歩みを緩やかにさせるかのようです。

しかし、何度か足を運んでみると、巢鴨でしか感じるできない風景は意外と少なく、ごく限られた場所との関わりから見えていることに気付きます。そこで繰り広げられる祭事やイベントは人と場所との親密さが感じられて良いのですが、一方で、拡幅工事を終えた白山通りの沿道は漫然とビルが立ち並び、地蔵通りの建物も建替更新を機に、時代の面影が取り払われ、高層化しています。昔から「道」とともに歩んできたまちが、その記憶を急速に失いつつあることが危惧されます。こうした状況に対して、誰もが「らしさ」を体感できる場所に、ここだからこそ見ることができる、感じることができる景を見出し、育んでゆくことが大切です。

具体的には、

道の起点となる入口広場 真性寺と一体に歴史を感じさせるゲート

白山通り沿道空間 巢鴨らしさを感じさせる特徴的な道

高岩寺北側参道 白山通り（新中山道）からの新しい参道

について、デザイン提案を検討します。

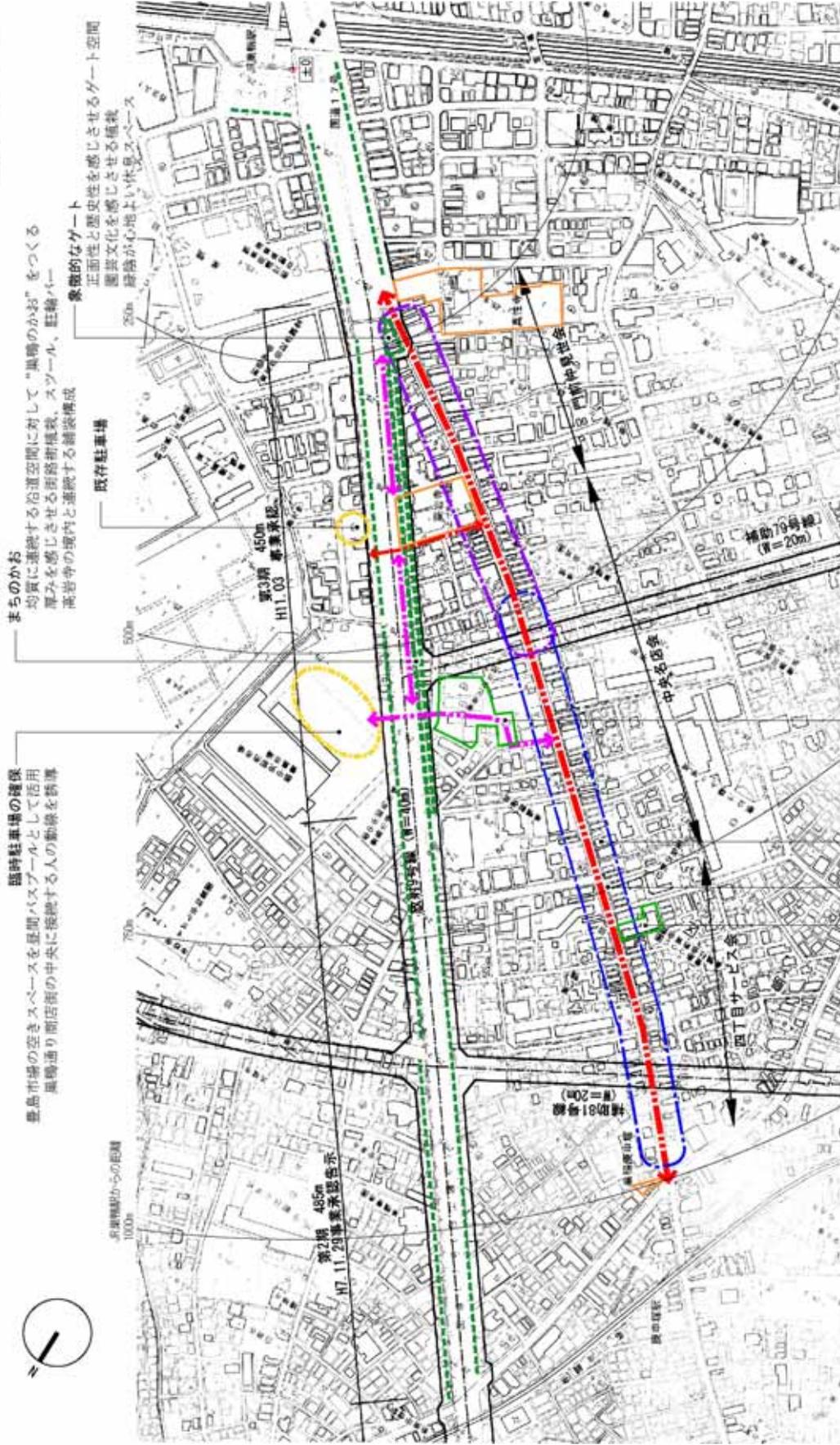
### 「道」の発見

まちが新しい姿を手に入れようとしている時に、記憶をとどめ、継承する 策を講じるだけでなく、と場所、人と人が出会う新たな可能性を秘めた「道」を積極的に発見し、繋いでゆくことも考えてみたいと思います。

ひとつは、豊島区衛生部分庁舎と巢鴨四丁目児童遊園を結ぶ道です。隣接する空き地部分も合わせて、地域に不足している開放的な広場を確保します。道路を挟んで向かい側にある豊島市場の臨時駐車場活用を合わせて考えれば、集客の新たな動線を得ることも可能となります。もうひとつは、空き店舗を利用した特徴あるテナントの誘致による道です。これは庚申塚に近いエリアに、高岩寺周辺とは異なる特徴を持った店舗を積極的に誘致して、訪れる人々の回遊性を高めることを狙います。

いずれも十分な検討と協議を求められる発想ですが、新しい巢鴨の魅力を引き出し、地蔵通りを軸とした地域の再編、活性化を実現するために有効であり、どんな景が目の前に現れるのか期待させてくれます。

これまでの考え方の道筋にもとづき、具体的に平面図に落としながら整理し、ポイントとなる場所のデザイン検討を進めることとします。



**まちのかお**  
均質に連続する沿道空間に対して“異質のかお”をつくる  
厚みを感じさせる街路新構築、スツール、駐輪バー  
高岩寺の境内と連続する舗装構成

**臨時駐車場の確保**  
豊島市場の空きスペースを昼間バスプールとして活用  
風通し商店街の中央に接続する人の動線を誘導

**象徴的なゲート**  
正面性と歴史性を感じさせるゲート空間  
歴史文化を感じさせる植栽  
緑陰が心地よい休息スペース

**既存駐車場**

**新しいアクセスルートと広場**  
公共施設の建替と連携させて、既存の公園と連続する広場を提案  
2本の通りを結ぶ人の動線を導き、空間利用に回遊性を与える

**休息スポット**  
公共施設を起点として休息スポットを各所に確保  
緑の節量を検討する

**カルチャーファーム**  
お茶、お香、温泉、マッサージ、ハーブなど  
異動ならではのオリジナルショップを展開

**ヤングファーム**  
空店舗を活用して若手起業家やアーティストの活動を支援  
生活に溶け込みやすい地域性を活かして若者の才能を育む  
まちを訪れる世代の拡大を図り、多様な交流を促す

西武池袋線  
人の動線  
主な中街

空間構成ダイアグラム S=1/3000  
東武池袋線 2004.10.2

